

本庄南ロータリークラブ



手を貸そう

会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1
Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141
E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 根岸 良行 クラブ会報委員会 / 委員長 矢部 一臣 / 副委員長 飯塚 能成
幹事 長沼 章 / 委員 星野 栄一・木村 真純・清水由紀夫

第468回例会 11月18日(火) 発行 平成15年11月25日

- 司会 / 星野栄一SAA
- 点鐘 / 13時00分 根岸良行会長
- ソング / 国歌・それでこそロータリー
- ゲスト / 野中 弘之様(地区ロータリー財団部門委員長・熊谷東RC)

RRRRR RRRRRRRRRRR RRRRR RRRRRRRRRRR

会長挨拶

根岸良行会長



前期最大の行事でありますガバナー公式訪問も滞りなく終了致しました。これも会員皆様のご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

お客様のご紹介を致します。地区R財団部門委員長、野中弘之様本日はようこそお出で下さいました。後ほど卓話をよろしくお願い致します。

先日の11月7日職業奉仕研修会が埼玉グランドホテル深谷にて開催されました。奈良橋エレクト、戸谷会員、中原会員と共に行って参りました。その中で経済アナリスト竹井巖氏の講演があり、世界の有名ブランドは日本への出店をし、また出店を計画中であるとの事でした。一方日本経済は多額の借金をしている、しかしこの試練に残る事が出来れば経営も順調になって来る、またその試練に合わせて変化出来る企業だけが生き残ることが出来るとも言っておられました。この困難な時代を戦い抜き、生き残らなければならないと思いました。

その後地域で活躍している企業の体験発表として「株式会社オリケイ」鶴養秀男氏、「精神障害者社会復帰施設」荻澤貫志氏、「永田紙業株式会社」永田博太郎氏の体験発表がありました。お三方それぞれ企業の興味あるお話をされ、大変参考になりました。時間を延長してもお聞きしたいようなお話でありました。尚、本日高山孝ガバナーより先週の当クラブ訪問に対するお礼状を頂きました。

私達会員一同これからもガバナーの教えを忠実に守り、ロータリー活動を行って参りたいと思います。過日は本庄南ロータリークラブをご訪問頂き誠に有難うございました。心よりお礼を申し上げます。

幹事報告

長沼 章幹事



100周年記念推進キットが国際RIより届きました。

熊谷RC50周年記念誌が届いております。

大阪大会出席の方は登録書式に記入願います。

12月の第1例会は、年次総会が開催されますので皆様の出席をお願い致します。

デール氏のカレンダーを会長、幹事会(11/9)で取り上げてまいります。

委員会報告

浅田 進ガバナー補佐



第4グループの公式訪問が終わりました。印象を1、2話してみます。

ある程度の会員数の規模がないと運営が苦しい。

委員会の数が多いのは必ずしも都合ばかりではない。

委員会のメンバーを増して実質的な活動を可能にすべきでは。

現今の経済状況下では奉仕活動も数を追うのではなく、重点集中で効果が表れる方向で活動すべきでは。

卓話

野中弘之地区R財団部門委員長

<財団月間に因んで>

とかく「ロータリー財団」というと評判があまりよくありません。略した横文字が多く寄付の方



法や使われ方も複雑でわかりにくい。財団の本部でどんな運営をしているのか不透明だ等々。私も立場上、にわか勉強をしてみてもっともだと実感します。

しかし、RIにとってR財団はどんな位置にあるのでしょうか。元RI理事であった千玄室（宗室）さんはこんなふうに言っています。「国際ロータリーの中で最も重要な役割を果たすのがロータリー財団である。ロータリー財団なくしてRIがその世界的役割を演じ続けることは不可能である。」また、これはあとで知ったことですが、手続要覧の最新版には「地区ロータリー財団委員長はパストガバナーであるべきである。」とあります。

国際ロータリーにとって財団がいかに重要な位置を占めているかが良くわかります。世界最大（民間）の奨学金である国際親善奨学金、ポリオ撲滅キャンペーン、途上国への人道的援助、これらも財団あってはじめてロータリーの存在が世界に認知されると言っても過言ではないでしょう。どうかこのあたりをご理解いただいて、奉仕を標榜するロータリアンとして最も重要な寄付にご協力をいただきたいと思えます。

1. 今年度から変わる財団活動

1) 地区補助金の新設

これまで国際奉仕の分野でのみ使われていた財団の資金が新たに地区補助金として地区や各クラブの奉仕活動にも利用できる道が開けた（DDFの20%を上限）

2) 今年度の年次寄付分からシェアシステムとして地区で活用できるDDF（地区活動資金）と、ロータリー財団で管理するWF（世界活動資金）の比率が従来のDDF60%、WF40%から50:50となります。また、同額補助金の比率も変わり「マッチング・グラント」という名称になる。マッチング・グラントのニーズが増大、WF（国際活動資金）が不足した結果による。

2. 今年度ロータリー財団の寄付目標

（\$258,000）について

最近の年次寄付の減少傾向、シェアシステム変更によるDDFの減少、地区補助金の新設等から、これまで当地区財団活動の中心であった国際親善奨学生への資金が大幅に減少する恐れが出てきました。

世界的には「教育的プログラム」から「人道的プログラム」に活動の中心が移行していることは

確かですが。飢餓、貧困、疾病、非識字といった問題もなく、物質的な豊かさでは世界で最も恵まれたわが国で地区活動資金（DDF）の最もふさわしい活用は優れた次世代への人材育成ではないでしょうか。

年次寄付一人100ドルのご協力を心からお願い致します。今年度の年次寄付がDDFとして利用できる3年後、少なくとも4～5名の奨学生の派遣はしたいものと念じております。

締めくくりの言葉として「ロータリーの友」11月号の玉村財団管理委員の「自分がいたために世界がちょっとでも良くなったと思いながら死にたい。そのためにロータリアンになっています。それを推進するのがロータリー財団です。」これが財団の心だと思えます。

出席報告

萩原史夫出席委員長

会員数	出席	M.U	欠席	出席率
31名	13名	10名	18名	74.19%

例会予定

- 12/ 2 第470回 / 埼玉GH / PM7:00 定例理事会
- 12/ 9 第471回 / 埼玉GH / PM7:00 卓話
- 12/16 第472回 / 埼玉GH / PM7:00 クリスマス例会

ニコニコボックス

野中 弘之様 今日はお招きいただき有難うございます。ロータリー財団へのご協力よろしくお願い致します。

根岸良行会長 地区R財団部門委員長野中様、本日はようこそお出で下さいました。

浅田 進会員 //

戸谷全克会員 //

山田勝治会員 //

福島好正会員 //

欠席者のメッセージ

堀口孝利会員 仕事の都合で欠席致します。

高橋政夫会員 会議の為 //

服部浩一会員 //

堀川 明会員 //

松本忠夫会員 //

佐藤重孝会員 //